






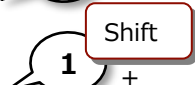

～電気部材変換編～

目次

DXF図面のオブジェクトをCADEWA部材に変換してみましょう

1. 開く
2. 名前を付けて保存
3. 部材変換
4. 上書き保存

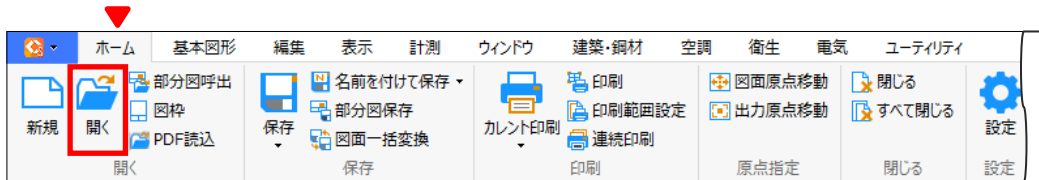
マウスの使い方

- | | |
|---|---------------------------------------|
|  | …指示位置をクリック (左クリック) します。 |
|  | …指示位置をマウス右ボタンでクリックします。 |
|  | …指示位置をダブルクリック (左2回クリック) します。 |
|  | …マウスを表示位置に近づけます。 |
|  | … [Ctrl] キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | … [Shift] キーを押しながらクリック (左クリック) します。 |
|  | …マウス右ボタンをクリックしたまま移動します。 |
| 右ドラッグマウス移動 | |

図面を開きましょう

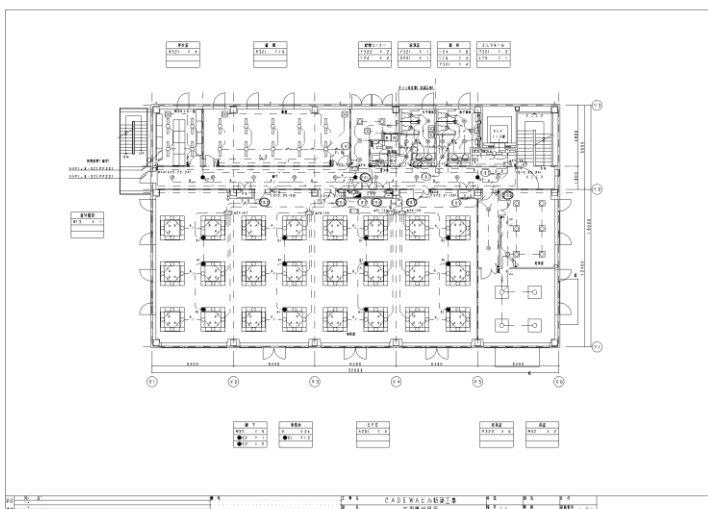
Operation

開く



使用する図面は
Smart_40_E06_電気部材
変換開始.dwg

- ① 図面を選択します
- ② 開く
- ③ 「三次元オブジェクトを読み込む」、「ブロックをグループに分解して読み込む」をOFFにします
- ④ 原点の位置を「図面原点を維持（無変換）」に設定します
- ⑤ 「レイヤーをフォルダーにまとめる」をONにします
- ⑥ 縮尺と用紙を変更します
*縮尺：1/100
*用紙：A2横
- ⑦ OK

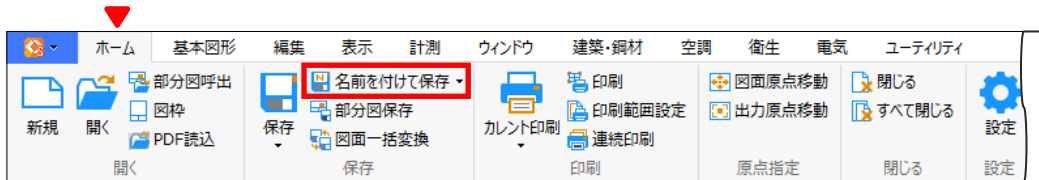


2.

図面を保存しましょう

Operation

名前を付けて
保存



- ① ファイル名を入力します
*Smart_40_E06_電気部材変換開始.ZDW

- ② 保存

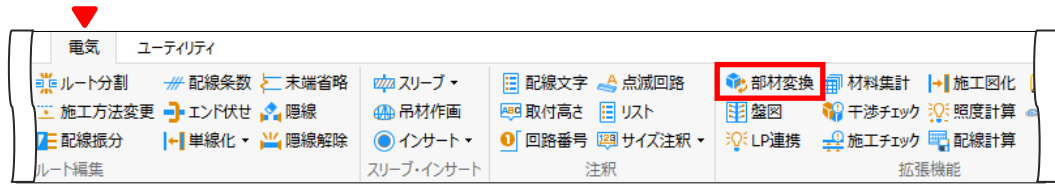


3.

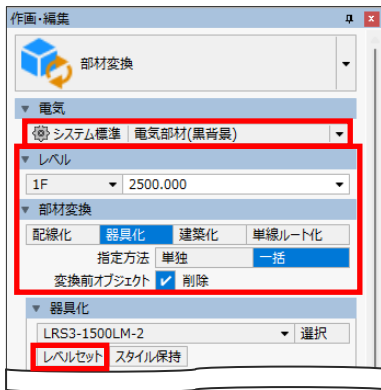
汎用線を電気部材のオブジェクトへ変換しましょう

Operation

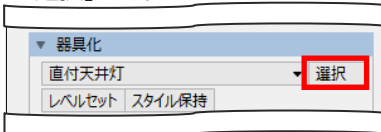
部材変換



- ① 器具の部材変換を設定します
*プリセット：電気部材（黒背景）
*レベル：2500
*変換：器具化
*指定方法：一括
*変換前オブジェクト：「削除」ON
*「レベルセット」OFF



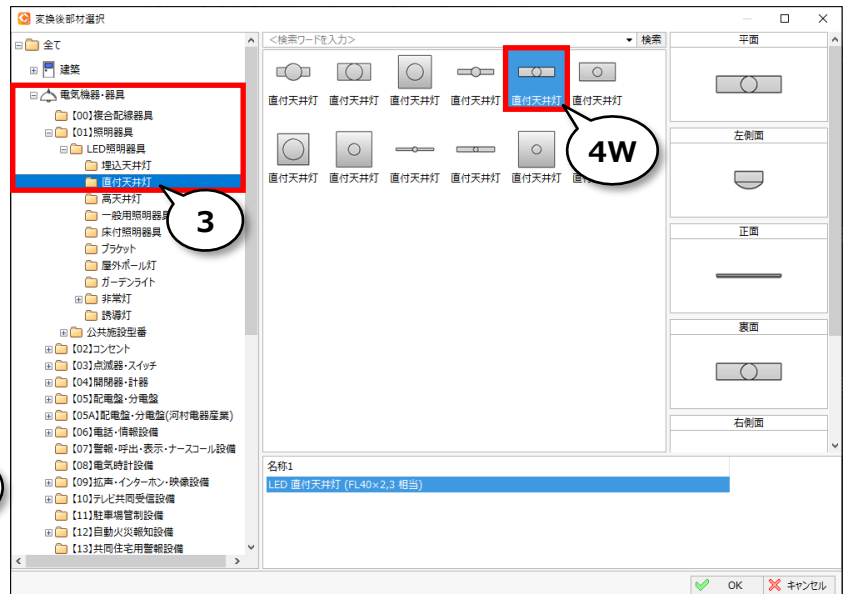
- ② 変換後の器具を設定します
*「選択」をクリック



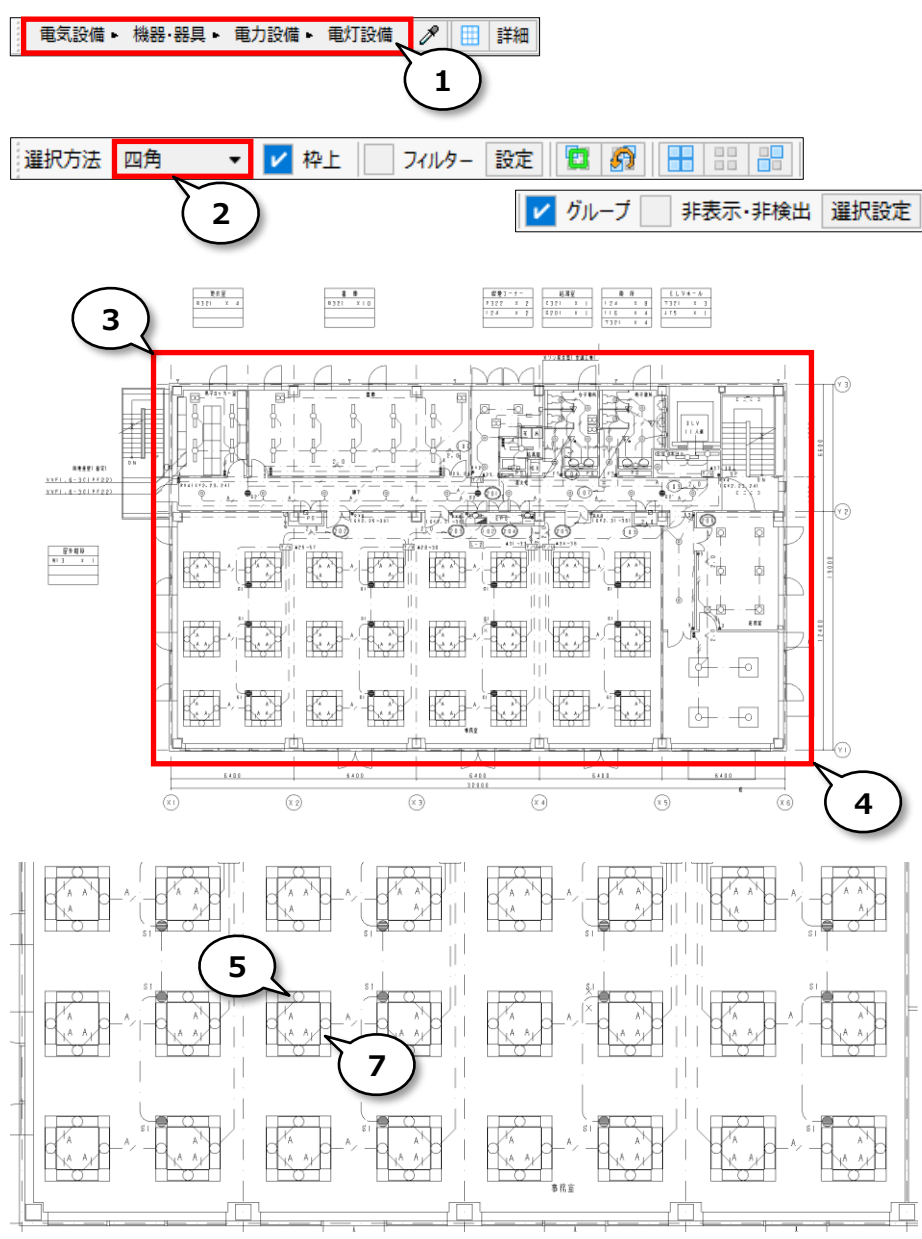
- ③ 器具を選択します
*「電気機器・器具」-「【01】照明器具」-「LED照明器具」-「直付天井灯」

- ④ W「直付天井灯」を選択します

- ⑤ 変換後の配置角度やスタイル等を設定します
*角度：「最長線分優先」ON



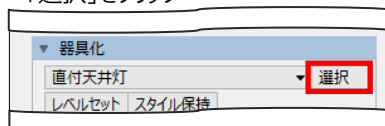
- ① レイヤーを設定します
*「電気設備」-「機器・器具」-
「電力設備」-「電灯設備」
- ② 選択方法を「四角」に変更します
- ③ 変換するオブジェクトを選択してください
- ④ 範囲選択の終点を指示してください
- ⑤ グループを指示してください
*横向き器具を指示
- ⑥ 右 選択完了
- ⑦ グループを指示してください
*縦向き器具を指示
- ⑧ 右 選択完了



プルボックスへ変換します。

- ① 変換後の器具を設定します

*「選択」をクリック



1

- ② 器具を選択します

*「電気機器・器具」-「【29】プルボックス」

- ③ W 名称1を選択します

*プルボックス (さび止め・平ふた
300x300x300)

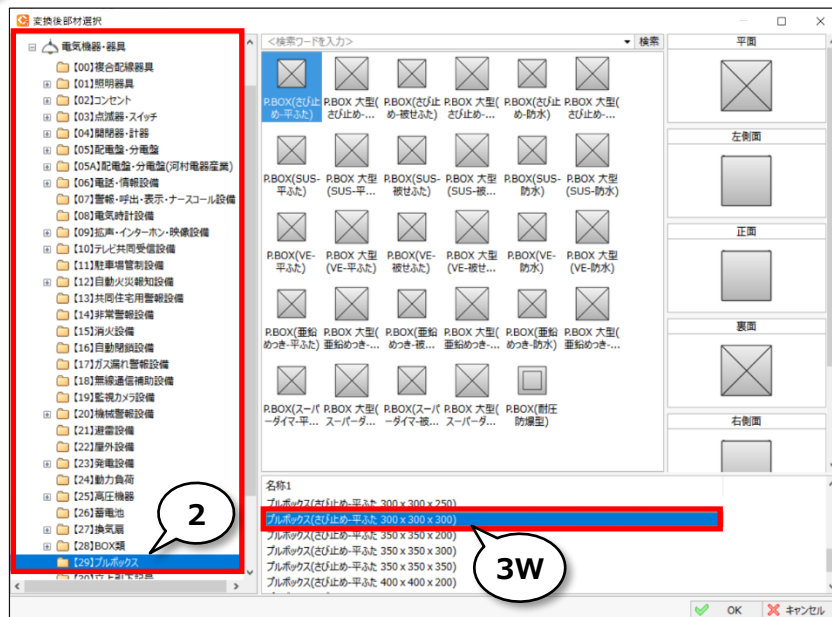
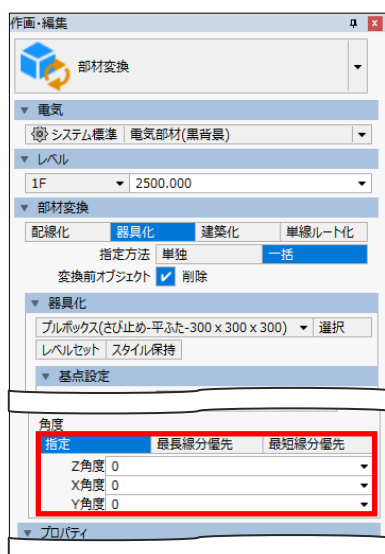
- ④ 変換後のレベル、配置角度を設定します

*角度: 「指定」ON

*Z角度: 0

*X角度: 0

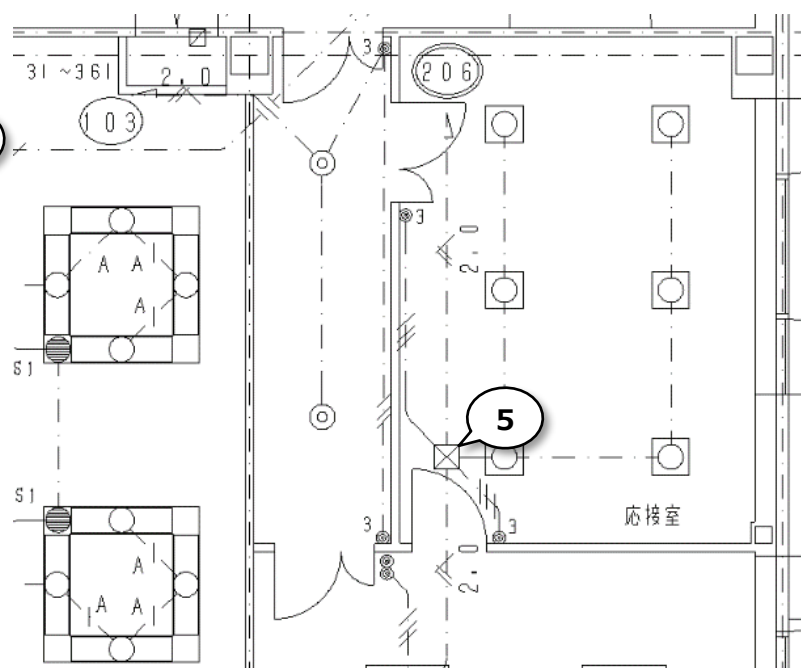
*Y角度: 0



4

- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください

- ⑥ 右 選択完了



6右

右ドラッグマウス移動

右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。

器具化について

- 変換対象

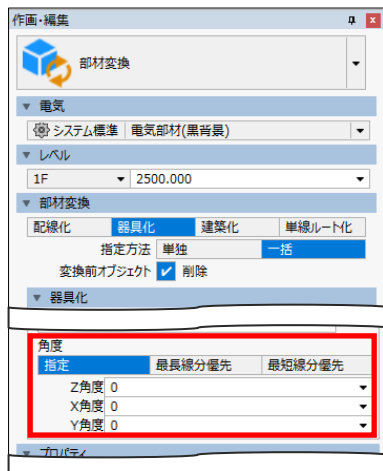
器具化（単独）の変換対象：点、線、円、円弧、楕円、楕円弧、文字、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

器具化（一括）の変換対象：円、ポリライン、スプライン、拡張オブジェクト

（※器具化の対象となる拡張オブジェクトは、建築を除くCADEWA Smartで作画した機器器具や配線・配管・ダクトなどのルート部材、表、雲、3D図形、ブロックなどが該当します。）

「一括」で意図した変換ができない場合は「単独」での変換をお試しください。

- 角度



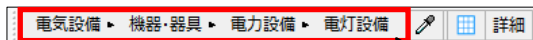
「指定」ONの場合、Z角度、X角度、Y角度に入力した角度で配置します。

「最長線分優先」ONの場合、変換対象要素の最長線分の角度を優先して配置します。

「最短線分優先」ONの場合、変換対象要素の最短線分の角度を優先して配置します。

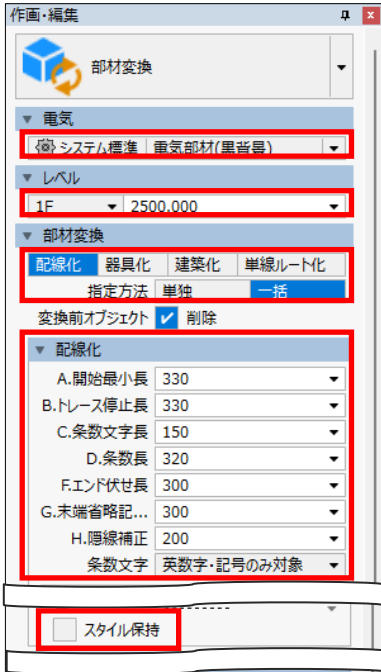
- 変換後レイヤー

変換した器具はレイヤーパネルで指定した入力レイヤーへ作画します。
変換する際は、入力レイヤーを指定してください。



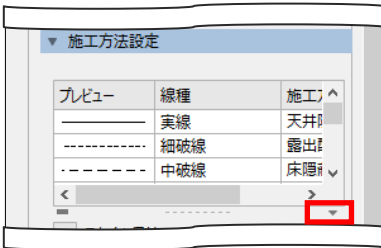
1

- ① 配線の部材変換を設定します
- *プリセット：電気部材（黒背景）
 - *レベル：2500
 - *変換：配線化
 - *指定方法：一括
 - *A.開始最小長：330
 - *B.トレース停止長：330
 - *C.条数文字長：150
 - *D.条数長：320
 - *F.エンド伏せ長：300
 - *G.末端省略記号長：300
 - *H.隠線補正：200
 - *条数文字：英数字・記号のみ対象
 - *「スタイル保持」OFF



1

- ② 施工方法設定を確認します
- *右下「▼」をクリック



2

- ③ 施工方法を設定します
- *実線：天井隠蔽
 - *DASHDOT：天井ふところ内

プレビュー	線種	施工方法
————	実線	天井隠蔽
-----	細破線	露出配線
.....	中破線	床隠蔽
-----	長破線	床隠蔽
————	CENTER2	天井ふところ内
————	CENTERX2	天井ふところ内
————	DASHDOT	天井ふところ内
————	DASHDOT2	天井ふところ内
————	DASHDOTX2	天井ふところ内

3

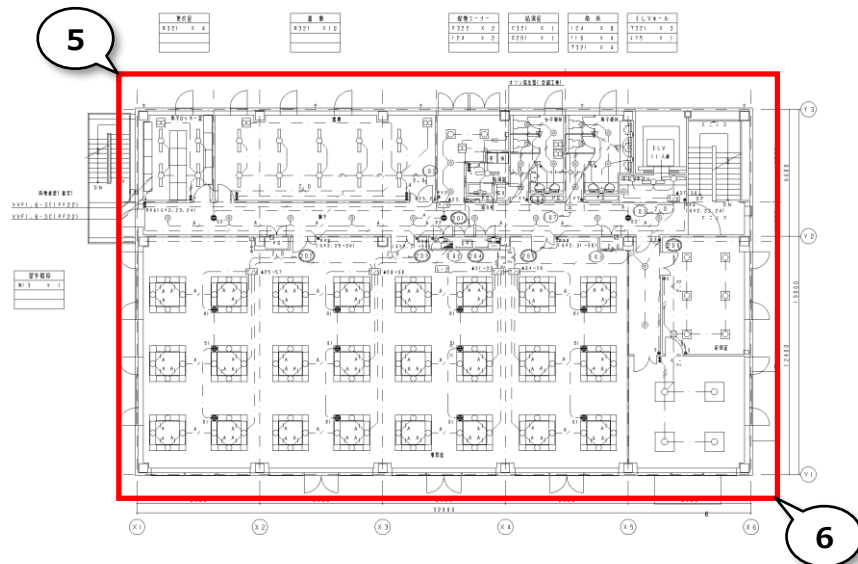
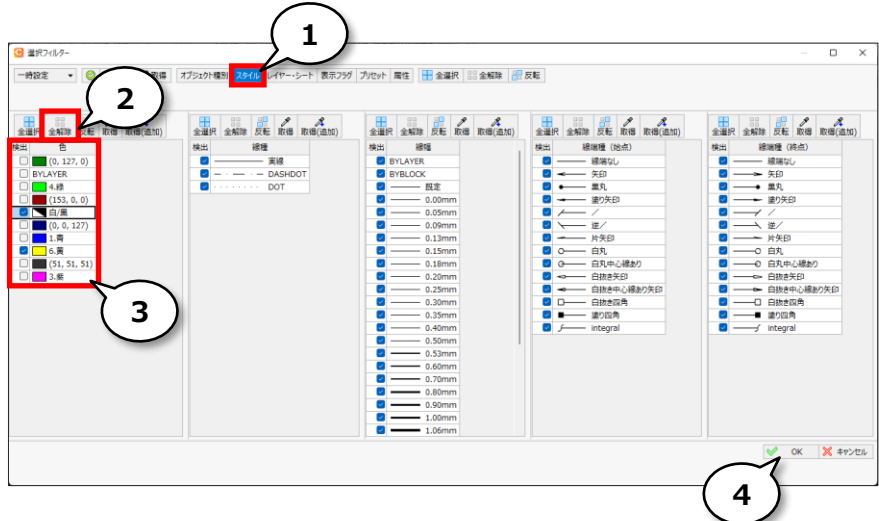
線種ごとに変換後の施工方法を
設定します

- ④ 「設定」ボタンをクリックします

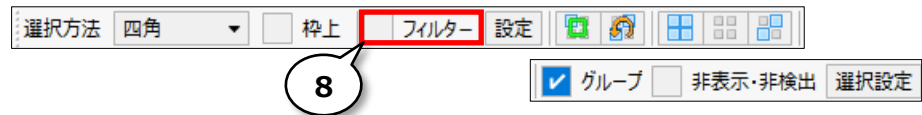


4

- ① 選択フィルターを設定します
*「スタイル」をON
- ② 色設定の「全解除」ボタンをクリックします
- ③ 色検出を「白/黒」、「6.黄」のみONにします
- ④ OK
- ⑤ 変換するオブジェクトを選択してください
- ⑥ 範囲選択の終点を指示してください
- ⑦ 右 選択完了
- ⑧ 選択フィルターをOFFにします



7右 → 右ドラッグ移動により、
選択を完了します。
[Enter]キーまたは、
[OK]ボタンクリックでも
確定します。



配線化について

変換対象

配線の変換対象：線、円弧、楕円弧、ポリライン、スプライン
 配線条数の変換対象：線、円弧、文字、ポリライン、スプライン
 省略記号の変換対象：線、円弧
 エンド伏せの変換対象：線、円弧、楕円弧

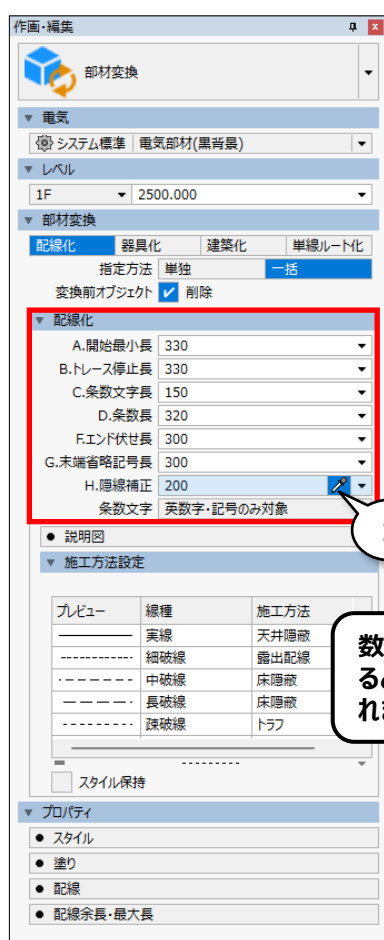
元図がDWGファイルの場合、ブロック要素は配線化対象になりません。
 「分解」コマンドで線や円弧に分解してから配線化を行ってください。

変換後レイヤー

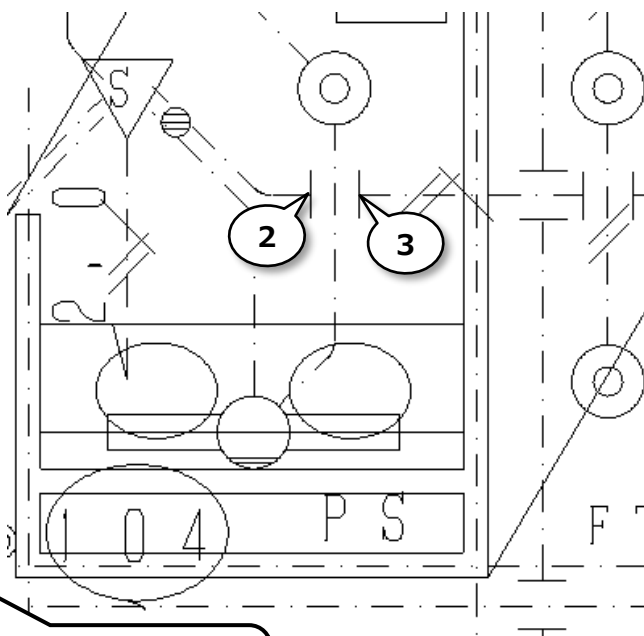
配線化されたものは、変換元のオブジェクトと同じレイヤーに入ります。
 レイヤーを移動したい場合は、レイヤー分解で移動するか、プロパティのレイヤー情報を変更します。
 (レイヤー分解での移動方法は「図面互換編」を参照ください。)

「配線化」設定について

条数化する対象長さや隠線記号化する対象長さなど、配線化する際の各種対象長さを設定します。
 設定にはスポイトが使用できます。



数値入力欄にマウスを移動すると、スポイトマークが表示されます。



距離 200

距離 × 200

距離 y 0.17

距離 z 0

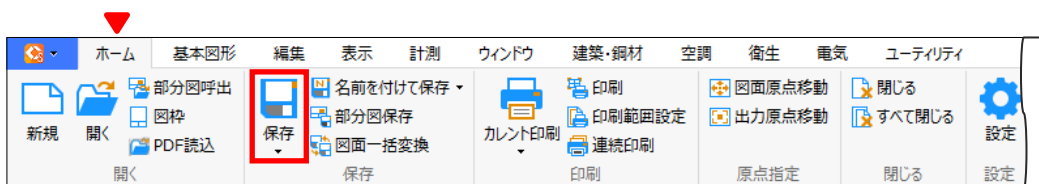
4

4.

図面を上書き保存しましょう

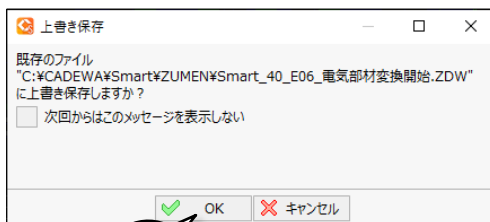
Operation

上書き保存



① OK

*既存のファイルを確認



1